

桜川市地域おこし協力隊募集関連支援業務に係る
公募型プロポーザルに関する質問に対する回答

令和7年8月6日

番号	質問内容	回答
1	仕様書の「目的」に「当市が抱える様々な地域課題の解決につなげるため」とありますが、現在、市として特に重要視している地域課題（例えば特定の産業の担い手不足、遊休資産の活用、関係人口の創出など）は何でしょうか？募集を予定している3件の業務は、これらの課題に直結するものという理解でよろしいでしょうか？	ご質問に例示いただいた課題を含め、当市は「目的」に記載のとおり様々な地域課題を抱えております。特に重要視している地域課題を一概に名言できない状況ですが、地域課題の解決に寄与する方策の一つとして地域おこし協力隊制度をどのように活用していくか、という募集戦略の構築についても業務内容と設定しております。 募集予定である3件の業務は、地域課題解決につなげていくことを前提として具体的に設定していく予定です。
2	これまでの地域おこし協力隊の募集・採用活動において、特に成功した点や、逆に課題として残った点（例えば応募数が想定より少なかった、求める人物像と応募者に乖離があった等）がございましたら、差し支えない範囲で教えていただけますでしょうか？	当市の募集・採用活動において、「応募倍率が低い」「選考（書類・面接）のみで判断しにくい」といった点が課題として挙げられます。うち「応募倍率が低い」点については、令和6年度（2024年度）に募集した案件より募集要項の内容や広報活動を充実させ、応募倍率を伸ばすことにつながったことが成功した点として挙げられます。
3	採用後のミスマッチを減らすため、「現地説明会」を「おためしプログラム」に組み込み、一体開催することを検討しています。遠方参加者の負担を軽減し、体験を通じて地域への深い理解を促すのが目的です。このような形式での企画・提案は可能でしょうか？	「(2) おためし地域おこし協力隊プログラムの企画・運営」に現地説明会の内容を組み込むことは差し支えありませんが、「(1)⑤募集に関する説明会の開催支援」にある現地説明会は別途1回以上開催することは必須としております。
4	現地説明会について伺います。 この「現地」とは、桜川市内での開催を必須とするものでしょうか？あるいは「対面での実施」という意味合いであり、より効果的な募集に繋がるのであれば、例えば首都圏など桜川市外での開催も想定可能でしょうか？	ここでいう「現地」とは桜川市内での開催を想定しております。そのため、桜川市内での説明会を1回以上開催することを求めるものです。ただし、現地1回以上、オンライン2回以上の説明会を実施することに加え、桜川市外での説明会開催をご提案いただくことは差し支えありません。

番号	質問内容	回答
5	業務ごとの予算配分について伺います。業務内容である「(1) 地域おこし協力隊の募集支援」と「(2) おためし地域おこし協力隊プログラムの企画・運営」について、市として想定されている予算の配分や比率はございますでしょうか？	予算の配分や比率については、契約手続き上明示いたしません、実施要領に記載のとおり「地域おこし協力隊推進要綱」に基づく特別交付税の対象経費とすることを想定しております。(1)及び(2)それぞれ対象経費上限額の範囲内としていただくことは必須とし、その範囲内及び提案内容に応じ、見積上限額の範囲内で適切に配分や比率を設定をお願いします。 そのため、例えば見積上限額 350 万円のうち、(1)を 200 万円、(2)を 150 万円とすることは不可となります。